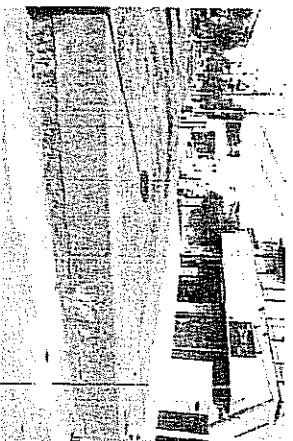


交差点の整備 地元住民の願い実現

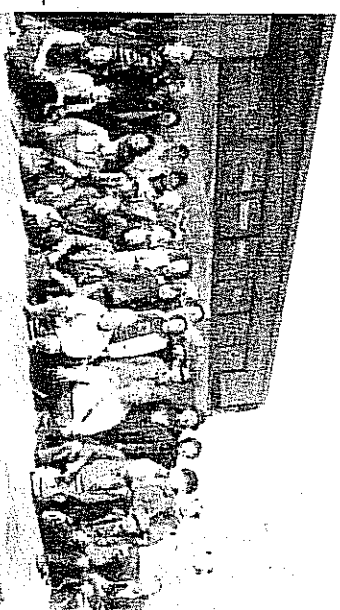


上：花壇の台だけ残った工事前
下：工事が終わって整備された交差点



江戸川台東2丁目の交差点(江戸川合リニック近く)

た。東自治会も高野とも前議員も「安全のため花壇の撤去」を市に求めていきました。急ぎ坂道からは「やめます」の回答は得られていませんが、やっと実現し、三歩行者も車も危険を感じて、使用の手など、ご意見を聞き取りたいです。



屋敷・撤築後、餅子の犬吠埼灯台駐車場

被災地旭市を励ます

人からけしむらっだ直議がたに

幸弁当「やお刺」いただき、楽しくも実になる親睦旅行でした。

語り継ぐ会の中條さんが お話しと現地の案内を

中條さんは、先の東日本大震災の被災者たちも、まだ災害は終わっていません。被災した旭市は、当初200戸が建設されました。震災から2年半が過ぎた現在、86戸181名が暮らしています。仮設住宅への入居を1年間延期してもらい、来年3月まで居られることになりました。「飯岡津波を語り継ぐ会」の中條さんに話しに鉄筋3階建の災害公営住宅(復興住宅、平成26年4月から入居の見込)の犬吠埼へ。屋敷に「福



仮設住宅の前で説明する語り継ぐ会の中條さん(手前)と参加者のみなさん

うです。エアコンは各戸1台だけ。「被災した直後はここに移れてとてもうれしかったが、人間はわがままなもので、ここも不便を感じるようになっていきました。仮設住宅はバラバラの気持ちはよく分かりました。次にバスで被災地を案内してあげたい。思っていた以上に被災した場所が広範囲でした。今では家の土台だけが残っている所、更地になっていく所、元の我が家の所に新築の家を建てた所が数人の方がなくなっています。

「まだておまわ・焼きのシラメ」のお申し込みが2つぎいきました

おまち・焼きのシラメのご注文は12月18日までに
1枚 1700円
半切り100枚入り 1300円

津波・液状化での被害状況

全棟	3366軒
半壊	944軒
一壊	2524軒
犠牲者	14名
不明者	2名
行方不明者	2名
自動車もたふさん流され、陸に打ち上げられた	2名
自動車の海船もほとんどが陸に打ち上げられた	2名

飯岡灯台は飯岡の町が見渡せます。被害の様子もここから見るとよく分かった。余談ですが、ここでは「地球が丸く見え、丘」という有料施設と変わらぬ眺望が得られる隠れた名所です。

援もありがたいが、言葉をかけてくれるのが一番うれしかった。私たちが被災者たち同士の話は「何かもな」ってしまっただけで、わたしたちは前7年前の元津波の高さを示す標柱が見えました。向きになった。希望が見えないうちに、他の漢字にしたのは、単なる人からかけてもらえる言葉が一番力を持つことを知った。

流山市高齢者の集い 市民の連帯で一人ぼっちの高齢者をなくす



市民の連帯でひと一人安心して暮らす国作りへ！
市民の連帯で一人ぼっちの高齢者をなくす

「あすなる」「こぶは一度並べたものの、合風のため急いで車に戻しと手作りのアップルケーキを販売しました。だんを販売しました。だんを激しくなる風雨、し敵しい政治情勢の中、悪法悪・秘密保護法を、日よりの作ったケータリーナと売らんがための激励、阻むための頑張ります。また、ご協力よろしくお願ひします。

2部の文化行事は初参加の五舞踊や「招き合」の集いが11月3日の三味線の合奏は見事な午後から初石公民館で開かれました。東葛健康友の会の合唱団「ソング」のオムニバスで始ま、第一部は流山市「保険あつて介護なし」からの出前講座「介護が自民・公明政権によつてますます進むことを危惧せずにはいられません」に参加した方の報告などがありました。

みんな健康まつりで救済!

昨年開催して今年も雨第25回「とっかつ健康まつり」が10月20日者の皆様からたくさんご協力いただきました。当日は一度並べたものの、合風のため急いで車に戻しと手作りのアップルケーキを販売しました。だんを激しくなる風雨、し敵しい政治情勢の中、悪法悪・秘密保護法を、日よりの作ったケータリーナと売らんがための激励、阻むための頑張ります。また、ご協力よろしくお願ひします。

「あすなる川柳」
「三七表示」
「自衛一隊」介護保険、障害者自立支援...看板に偽りは数え切れず
「お手のもの」
「秘密(あれ)より」
「汚染」水漏れ対策
「秘密保護(送)」
「個人情報」
「秘密 反舌?」
個人情報が漏れるのでは?